



Noguchi Times

NOGUCHI INTERNATIONAL BUSINESS CONFERENCE NEWS Vol.1 2014.03.24



CONTENTS

■創刊にあたって	p2
■野口国際ビジネス交流会（NIBC）とは	p3
■野口医学研究所グループ	p3
■野口医学研究所に於ける参与会の位置づけ	p4
■参与会メンバー紹介	p4
■これまでのNIBC開催内容	p5
■賛助会員のご紹介	p6
■野口記念インターナショナル画像診断クリニックのご案内	p6
■野口医学研究所からのお知らせ	p7

創刊にあたって



Noguchi Times創刊にあたって、

野口医学研究所が誕生して早30年を迎えました。

色々な人々との邂逅と別離があり、今ここに「野口」は確りとした地歩を固めることが出来、日々、更なる発展を期して頑張っています。

顧みれば「野口」の組織は、かつて顧問会議が良識の府となり、理事会が諸事業を執行するという、二極の政を続けて来ました。

現在は紆余曲折を経て、評議員会が顧問会議に代わり、比較的新しい参与会という組織が加わって、強いて言うならば三極の柱が互いに切磋琢磨するという形になっています。

ペンシルバニア大学の歯学部は国内でも有数の歯学校ですが、そこへ偶々二度ずつ留学した優秀なドクターの内、一人が日本歯科大学の歯学部長となった羽村章先生で現在は「野口」の専務理事を務め、もう一人が九州大学の“軽音楽部”を出たという触れ込みなのに、何故だか有名な歯科医師となり、肩書がこれまた“俳優”という変わり種の安東恭助先生が、現在の参与会の会長として、参与会を「野口」グループの内に於ける中心的な一極へと導き、「野口」を大いに盛り立てています。

参与会が主宰する、NIBC (Noguchi International Business Conference)、即ち野口国際ビジネス交流会は、その前身である野口倫理審査委員会が催していたビジネス交流会から数えて今回が第29回目の開催となります。これを契機として、今後より充実した組織とその結束を図る為、この度新たにNoguchi Timesを発行する運びとなりました。

会員の皆様が、我々の「野口」であるという自覚の下に、向後はより積極的に参加・参画して頂き、この機関誌を価値ある物にして頂きたいと切望しています。

「野口」に関わる総ての人達の健康と発展を祈って止みません。 弥栄。

米国財団法人野口医学研究所
創立者・名誉理事 浅野 嘉久

野口国際ビジネス交流会の目指す道を思う

野口国際ビジネス交流会 (Noguchi International Business Conference : 以下NIBCと称します) は、倫理審査委員会の主旨を継承しながらも、ビジネスマンの方々に更に役に立つ会にしようと、私の参与会会長就任と同時にスタートした会です。

そのNIBCの機関誌が創刊され、定期的に皆様のお手元にお届け出来る様になったことは、野口医学研究所の発展の表れでもあり、私にとっても非常に感慨深いものがあります。これからのNIBCは、医学分野はもちろん、皆様のビジネスを支える科学、文化、芸術、芸能等幅広い分野の専門家をお呼びし、様々なテーマをいろいろな切り口で話し合っていきたいと思っています。

例えば、食糧問題やエネルギー問題等、地球規模で取り組まねばとても解決出来ない問題は、誰が解決する為の音頭を取ってくれるのでしょうか。

NIBCでは、このような問題も積極的に取り上げ、皆様に問題提起を行って参ります。

例えばサハラ砂漠を緑化するにはどうしたら良いか、などという大きなテーマでの話し合いも面白いと思います。私は、このNIBCの主宰者として、一人でも多くの皆様が参加して良かったと思える会にして行く所存です。毎回、素晴らしく優秀なビジネスマンが集う会です。皆様が存分にこの会を活用して、お仕事にお役立て頂くことが出来れば、これ以上の喜びはありません。創刊にあたり、NIBCの充実と発展を、改めて皆様にお約束する次第です。



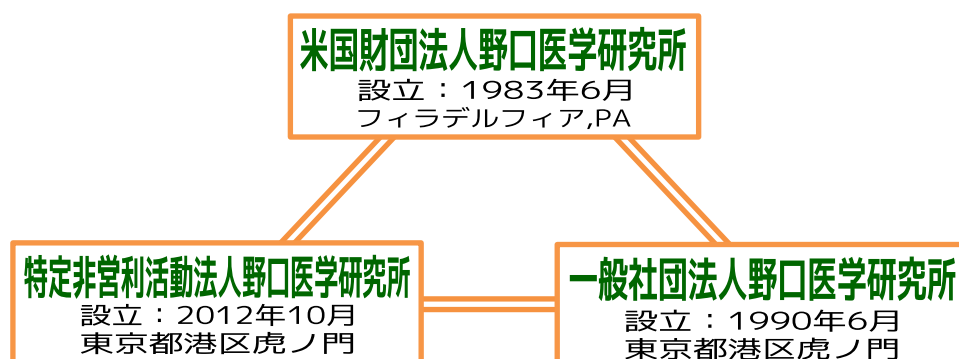
米国財団法人野口医学研究所
参与会会長 安東 恭助

野口国際ビジネス交流会とは

(NIBC : Noguchi International Business Conference)

野口国際ビジネス交流会（NIBC : Noguchi International Business Conference）は、米国財団法人野口医学研究所の参与会が主宰となり、年に5～6回開催しているビジネス交流会です。NIBCの主旨は、多くの企業様へ役立つ情報を提供させて頂くこと、参加者同士の繋がりを持って頂くことにあり、毎回幅広い分野から専門家をお呼びし、勉強会並びに懇親会を実施しています。

野口医学研究所グループ



米国財団法人野口医学研究所：「財団野口」

日本が生んだ世界的医学者・野口英世博士の業績を記念し、国際医学交流の促進を目的に、1983年アメリカ政府の承認のもとフィラデルフィアに設立され免税措置501(c)を取得した米国財団法人です。世界最先端の医学・歯学・薬学・看護学の共同研究や、日米双方の医師・医学生・看護師の留学システムを確立、資金援助を行うなど、日米をはじめ世界各国間に渡る国際医学交流の重要な拠点となっています。

特定非営利活動法人野口医学研究所：「NPO野口」

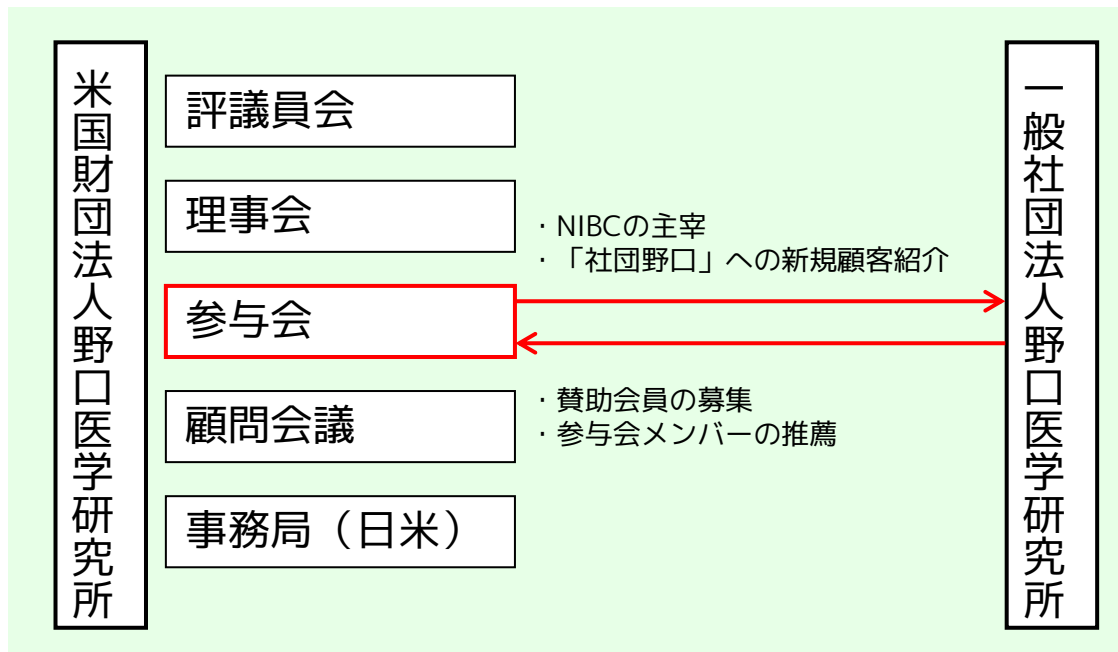
これまでの「財団野口」日本事務局という任意団体を、特定非営利活動法人として2012年10月に独立し登記した新組織です。「財団野口」で継続してきた医学交流活動を継承し、発展させていくことを目的としています。

一般社団法人野口医学研究所：「社団野口」

「財団野口」の外郭団体として、その活動を資金面から支援しているのが「社団野口」です。「社団野口」は、千円札と同じ野口英世博士の顔写真を、商品や宣伝に独占的に使用できる唯一の企業として、その優位性を存分に活用しながら、医療や健康に関わるサービスの提供や、健康関連商品の製造販売を行ない、皆様の健康維持・増進に寄与しています。その収益金は「財団野口」を通じ、国際医学交流並びに日本の医学発展の為に使用されています。

参与会の位置づけ

「財団野口」の財政を支える「社団野口」をサポートする組織として“参与会”があります。



参与会メンバー

【名誉会長】



安井 一正

【名誉会長】



安東 恭助

【会長代行】

未永 佳文

【副会長】

方 智煥
佐々木 翔

堤 大造
伊藤 松生

【参与】

金 珠玉
川西 密雄
栗田 秀子
井上 忠明

西澤 敏彦
山口 浩史
具 哲謨
高藤 恭胤

津々木 邦典
加藤 光雄
荒井 邦彦
張 頌



これまでのNIBC開催内容

**2002年
-2010年** 倫理審査委員会主宰のビジネス交流会
【第1回】～【第17回】

2010年 【第1回】 2010/9/9 (木)
●対中国ビジネスの現状と注意すべき事項
●国際社会におけるユーモア感覚

2011年 【第2回】 2011/1/19 (水)
●生起する農場
●地震早期警報を核とした国内外ビジネス展開

【第3回】 2011/4/11 (月)
●死にそこない“ヒロシ”のガンより怖い脳梗塞
●医療・教育・研修「鎖国日本」グローバルな開国のために
●愛と健康とビジネス (600億円のマーケットを作った男)

【第4回】 2011/9/26 (月)
●福島でのEMによる放射性物質低減化の試み
●EMによる塩害・悪臭・放射線対策

2012年 【第5回】 2012/2/7(月)
●本当はTPPってなに？
●プロ野球・監督の人心掌握術

【第6回】 2012/6/11(月)
●介護の現状と将来
●アメリカ雑感- 初井勝人の体験より-

【第7回】 2012/10/10 (月)
●野口医学研究所の活動と今後の展望
●見えない癌を見つけて治療する

2013年 【第8回】 2013/3/19 (火)
●誤ったサプリメントの摂り方
●野口記念インターナショナル画像診断クリニック
●難治性がんを消す多種ペプチドワクチン

【第9回】 2013/6/26 (水)
●社員が自発的に動く理由！勇気のスイッチとは何か？
●福島原発事故「2015年問題」の真実

【第10回】 2013/9/11 (水)
●最近の健康食品広告の規制・取締り動向と展望
●1cm以下の乳がんを見つける
～PEM (Positron Emission Mammography) : 乳房専用PETの実力～

【第11回】 2013/12/10 (火)
●グローバル化とお・も・い・や・り
●私がアメリカの医学・医療から学んだもの：日米医学交流30年を振り返って
●佐藤泰然と結いの心



賛助会員のご紹介

「財団野口」は、国際医学交流の推進を目的とした活動を永年に亘り続けてきました。日本が生んだ世界的医学者・野口英世博士の偉大な業績を称えその遺志を受け継ぐためには、国際医学交流活動は不可欠であると考えています。活動に当たっては外部の方々のご支援・ご協力が必要であり、その一つの方法として、“賛助会員制度”を設けています。『Noguchi Times』では毎月賛助会員様をご紹介します。

アサヒ飲料株式会社様のご紹介

AKB48でお馴染みの『ワnda』など数多くの人気商品を取り扱う清涼飲料業界第3位の大手メーカーです。NIBCでは毎回アサヒ飲料様より飲み物をご提供頂き、参加者の皆様にお配りしています。又、全国に於ける自動販売機の設置台数を増加させる為、「財団野口」を通じて医療機関等への積極的な営業活動を展開されています。



野口記念インターナショナル画像診断クリニックのご案内



佐藤俊彦先生（米国財団法人野口医学研究所 常務理事、放射線専門医）が院長を務めるクリニックです。

「見えないがんを診つける」をコンセプトに、画像診断によるセカンドオピニオン外来を行うと共に、画像診断検査で発見されないがんを見つけ、予防・治療することを目指しています。

診療内容 SERVICE

- 画像診断セカンドオピニオン
- 免疫細胞治療（BAK療法）
- テロメスキャン®
- PET 検査装置「PEM」

診療時間

【月・水・金】09:00~18:00
【休診日】火、木、土、日・祝日

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~18:00	●	/	●	/	●	/	/

当院は、完全予約制です。



【所在地】〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-22-13 虎ノ門秋山ビル2階

野口からのお知らせ

— 代理店並びに賛助会員募集のご案内 —

野口医学研究所では“代理店”並びに“賛助会員”を募集しています。

①代理店

「財団野口」の外郭団体である「社団野口」の事業パートナーとして、「財団野口」の運営及び活動に賛同の上、ご協力頂ければ幸いです。売れる商品とサービスがあなたを待っています。

【事業内容】

- 1) 野口ドクターホットライン®（国内海外24時間365日の電話医療相談）
 - 2) 健康相談サービス、健康食品110番（健康食品・化粧品等の電話相談代行）
 - 3) 品質推奨
 - 4) 野口ゴールド（金）コレクション
 - 5) 健康食品の販売（新健康活力製品シリーズ、アルツマイナー等）
 - 6) 化粧品の販売（キダシリーズ、森の洗い粉、海と卵のおくりものシリーズ）
- ※その他多くの医療、健康ビジネスを展開しています。



【代理店形態】

- 1) 代理店（登録料：30万円）
 - 2) 総代理店（登録料：100万円）
- ※総代理店は新規の代理店を傘下に置くことができます。
※各商品の販売手数料は、別途ご案内致します。



②賛助会員

賛助会員は団体・個人を問わず、全ての方を対象としています。「財団野口」の趣旨に賛同頂き、何卒厚いご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

【法人会員】（五十音順）

アサヒ飲料株式会社様、アプロメディカルホールディングス株式会社様、株式会社ウェットラストジャパン様、株式会社UNHWAジャパン様、株式会社オハナ生活倶楽部様、株式会社介護NEXT様、株式会社共生医学研究所様、株式会社京都科学様、株式会社ゴールデンタイム様、株式会社サンリツ様、全国人材支援事業協同組合様、千代田国際語学院様、株式会社デイマート様、株式会社日建学院様、株式会社ニッコトラスト様、株式会社日本ホップス様、株式会社NOAA様、訪問診療のナチュラルケアグループ様、淀川食品株式会社様

【個人会員】

安井一正様



NOGUCHI TIMES

Noguchi International Business Conference News Vol. 1

発行日 2014年3月24日
発行人 安東 恭助
発行所 米国財団法人野口医学研究所
編集 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13
電話 03-3501-0130
米国財団法人野口医学研究所 参与会
